



剣友

2025年(令和7年) 11月号

東海地区クラブ会長 渡並 直

IGKC ホームページ www.npo-igkc.or.jp

幹事長：酒井武信



1. 11月例会報告 (地区幹事 藤沢 充)

開催日時：11月15日(土)13:30～16:30、11月16日(日)10:00～11:30 (希望者は宿泊)

場所：漱玉館武道場、岐阜県可児市大森 989-1、宿泊施設：バロー研修センター

○1日目(15日)

渡並会長：この大変立派な漱玉館道場を使用させていただき、館長の高石先生に感謝申しあげます。今日と明日の2日間稽古し、剣道の深みの研鑽の機会にしてください。

高石先生：ようこそおいでくださいました。この道場は、床は秋田杉で床下には合計10個の瓶がおいてあるので、良い踏み込みをすると大きな音が出ます。良い研鑽につながることを期待しています。

- 1) 審査研修：高石先生にも審査に加わっていただき、八段審査を予定している8人の立ち合い模擬審査を実施した。結果を各自に伝えていただいた。
- 2) 技の講習：出端技の講習／講師山田久夫先生
まず間合いが重要です。交刃の間合いだと双方打てません。そこで一步(10cm位)入ったところが勝負です。
 - ① 出端面1：交刃の間合いから、攻め込んで、相手に面が打てる間合いと判断させて、その起こりに面を打つ。
 - ② 出端面2：相手が打とうと間合いを詰めて打ち間に入ろうとしたところを打つ。この時は相手が前へ出てくるので、自分は1歩遠くに飛ぶ必要もなく面が打てる。

- ③ 出端小手1：交刃の間合いから、攻め入って、相手の面を誘導してその起こりを、前へ踏み込んで小手を打つ。
- ④ 出端小手2：交刃の間合いから、剣先を鰐又は小手の方向に向けながら前へ攻め込む。すると相手は面を打とうとして手元が上がるので、前へ踏み込んで、小手を打つ。この時竹刀の振りは小さいので手の内の使い方が大切である。
- ・ 申合せ稽古：講習内容を申し合わせ稽古にて実践した。双方未だ十分に動作ができず、ちぐはぐであったり、打たせていただける場合が多くみられた。継続的に稽古する必要があると思われる。

3) 相互稽古：2分間5回の相互稽古を実施した。早速受講した出端面にチャレンジする会員もあり、一方従来の技のままの会員もあり。

4) 指導稽古：50分間の指導稽古を実施した。稽古後にそれぞれへのご指導をいただいた。

5) 稽古後のご指導内容

渡並先生：立派な道場で稽古ができた。床を踏んだ時に大きな音が出るようにすると、良い踏み込みができており良い打ちができます。審査では、試合ででないのも、必ずしも打突部位に当たる必要はない。思い切って「打ち切る」ことが重要です。審査時間中のシナリオを描いて、進めてほしい。また大きな掛け声は重要です。

櫻井先生：竹刀を刀として意識すること。そのために特に剣道形の1～3本目を毎回稽古して、「しのぎ」の使い方を修得するとよい。

川邊先生：打ったら通り抜けること。足の踏み込みが弱いと良い音が出ない。強い気持ちで稽古する必要がある。

山田先生：出端技は難しいので、数多く稽古すること。相手により微妙な部分があるので、繰り返し稽古することによりコツがつかめて上達できます。

高籬先生：出端技は頭のなかだけでは打てない。体で覚えるまで稽古してほしい。審査研修では、まだ躊躇しているけれども、当たるか当たらないかわからないが、迷わず打つ。を心掛けてほしい。

6) 1日目参加者/15日（順不同・敬称略）

講師：範士八段 渡並 直、教士八段/川邊省司、櫻井鋭治、山田久夫、高籬豊樹

漱玉館師範：教士八段/高石先生

(6名)

会員：青木三男、阿部なるみ、石田優美、大城逸男、小田瑞恵、影山雄三、片桐詩乃、桂 元保、兼川洋一、菊池雅樹、木村美紀、久世 誠、久保光江、久保晋子、祁答院知穂、小島真世、酒井武信、佐藤千早、志知照子、白井雅子、真城 進、須藤明美、高橋 至、西岡孝夫、野田孝志、平田優介、平野晴義、深谷 修、福富保博、古橋真志、藤沢 充、藤原公典、松田麻希子、村井安輔、山下 智、與儀美恵子 (36)

ゲスト：藤原さんご子息、濱本さん、佐藤さんご息女、岐阜 太田先生 (40名、総勢：46名)

7) 夕食会、懇談会と翌朝（上記から22名が宿泊）

バロー研修施設を利用させていただき、焼肉をいただきながら懇親を深めました。普段は稽古後解散しているので、今回は、先日の全国例会の女性の活躍のことや、地域の剣道教室での指導についてなどの話題をじっくり話す機会となり、お互いの理解が深まりました。さらに宿泊部屋では、稽古の方法や各自の技の出し方の工夫などの剣道談議にさらに花が咲いたようです。

そのおかげか、翌16日の稽古は10時開始にもかかわらず9時から道場へ入る先生が多く、昨日の講習内容や部屋で聞いたことを早く試してみたいという感じがあふれていました。

後程聞いた話ですが、一部の講師の先生は、「9時30分になってもだれも道場へ向かっていないので

みんな飲みすぎたんだな。と思っていた。」しかし、その時にはすでに皆さんは道場に入っていたというエピソードがありました。



○ 2日目(16日)



- 1) 技の稽古：昨日講習を受けた出端技4種を申し合わせ稽古にて復習した。
昨日よりスムーズな動作ができたようである。
- 2) 相互稽古：2分間5回実施した
- 3) 指導稽古：4人の講師の先生を元立ちに、指導稽古を実施した。
4～6人待ちとなると待ち時間が長くなるので、合間に相互稽古も実施しながら指導稽古に戻る方法にて、時間を効率的に活用しながら進めた。
- 4) 稽古後のご指導内容
 - 渡並先生：払う、巻く、摺り上げるが成功するのは右手を強く握る相手に対してである。
逆に柔らかく握っている相手には、効果がなくこちらの隙を打たれてしまうものである。
 - 都地先生：剣先をもっと活かすこと。そして間合いの取り方が重要であるので、自分の得意な間合いをつかむこと。
 - 山田先生：昨日より今日の方が、出端技が上達した。すぐには修得できないが、繰り返し稽古

の中で実践することにより身につきます。さらに、相手の動きや癖等により応用編となるので、数多く稽古してください。

高旗先生：若いうちは攻め込んで打つことをやること。やらないと身につかない。

5) 2日目参加者/16日（順不同・敬称略）

講師：範士八段 渡並 直、教士八段/高旗豊樹、都地 学、山田久夫（4名）

参加者 石田優美、小田瑞恵、片桐詩乃、兼川洋一、久世 誠、久保光江、小島克枝、
酒井武信、志知照子、白井雅子、野田孝志、彦坂洋一、藤沢 充、藤原公典、
松田麻希子、村井安輔、山口照義、與儀美恵子 （18）

ゲスト 藤原さんご子息、岐阜 柘植先生 （20名、総勢 24名）



2. 今後の予定

1) 12月例会 日時：12月6日（土）、13:30～16:30、蒲郡市体育センター剣道場、蒲郡市緑町3-69
Tel 0533-69-3241

2) 1月例会 日時：2026年1月25日（日）13:30～16:30、於/刈谷市体育館剣道場、
刈谷市逢妻町4丁目32番地 Tel: 0566-21-7711

3) 2月例会 日時：2026年2月20日（金）～21日（土）至誠館道場（西岡孝夫先生の道場）
三重県度会郡度会町葛原729

*2月例会の詳細は、東海地区クラブ10月会報をご覧ください。参加希望の方は下記にて
お願いします。

- ・東海地区クラブ会員は、ラインにて連絡ください。
- ・他地区の方からの連絡先 take3305501@gmail.com

以上